

研究協力をお願い

藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

回復期リハビリテーション病棟患者の悪液質有病率とエネルギー出納・アウトカムに及ぼす影響
1. 研究の対象および研究対象期間 2023年4月1日から2024年1月10日に昭和大学藤が丘リハビリテーション病院の回復期病棟に入棟された患者さん
2. 研究目的・方法 近年、食事摂取量やエネルギー充足が効果的なりハやサルコペニア・フレイルの予防・改善に重要であることは共通認識となりつつあります。悪液質はエネルギー不足だけでなく、代謝障害を伴い、AWGC2023という新たな診断基準が発表されました。回復期リハを推し進めていくためにエネルギー充足は重要ですが、その背景の一つである悪液質の有病率やエネルギー出納と治療成績に及ぼす影響は不明な点はまだ多いです。本研究は回復期リハ患者さんが悪液質をどの程度有するかと、エネルギー出納や治療成績に及ぼす影響を診療録情報を用いて明らかにすることを目的とします。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者背景(性別、年齢、診断名、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、入院時入院形態)、摂取エネルギー量、消費エネルギー量、エネルギー出納、握力、薬剤の内服数、認知機能の程度、悪液質、回復期病棟実績指数、腹部症状の有無、嚥下障害の程度
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。
6. 研究組織 研究責任者 昭和大学 保健医療学部 看護学科 安部 聡子

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学 藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター

氏名：池田 崇（事務局）・安部聡子（研究代表者）

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-2-1 電話番号：045-974-2221